

平成26年度

## 文化財保護事業

評価表

No. 31

[単位：千円、人]

1 事務事業の位置付け (Plan)						
所管部課名	教育部文化課		担当者	前 幸男		
根拠法令等	文化財保護法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律		マニフェスト関連	□		
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 特定事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 裁量事業					
政策	地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり		施策	地域文化の保存・伝承		
			小施策	文化活動の推進		
予算科目等	会計	一般会計				
	款	教育費	項	社会教育費	目 文化振興費	
	事項	文化財保護費		細事項	文化財保護費	
2 事務事業の実施 (Do)						
事業の内容	概要	文化財の指定、管理、調査・研究、普及・啓発にかかる業務である。				
	対象（誰を、何を対象とする事業か）	市内に存在する指定・指定外の文化財、文化財保護審議会委員及び文化財関連諸団体、一般市民				
	意図（どのような状態にしたいのか）	市民が気軽に文化財にふれることができるまちづくり				
	手段（市がどのような活動をするか）	文化財保護審議会の開催、文化財指定、文化財の清掃等の管理、文化財少年団等を通じた文化財愛護思想の普及・啓発				
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (⇒      年度 ~      年度)				
		指標名		目標値	目標年度	
	活動指標	発掘調査、文化財調査、出前講座対応		300件	H31	
	成果指標	文化財少年団延べ参加者数		100人	H31	
経費及び指標の推移	項目	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 見込額	平成28年度 見込額
	事業費	9,637	7,865	11,015	8,902	8,902
	文化財保護審議会	297	277	369	369	369
	管理（清掃、パトロール）	4,043	3,577	3,670	3,490	3,490
	調査・研究（埋文・指定）	2,721	1,469	2,295	2,295	2,295
	普及啓発（少年団・説明板）	562	608	1,515	715	715
	負担金・工事	55	74	961	64	64
	補助金	1,959	1,860	2,205	1,969	1,969
	郷土芸能保存奨励	1,801	1,702	1,847	1,847	1,847
	郷土史研究会運営	158	158	158	122	122
	川内大綱			200	0	0
	財源内訳	61		20	20	20
	国・県支出金	61		20	20	20
	その他	328	606	535	535	535
	一般財源	9,248	7,259	10,460	8,347	8,347
	要員配置状況	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30
職員	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	
嘱託員		0.40				
臨時職員等		0.40				
活動指標の推移	300件	300件	300件	300件	300件	
成果指標の推移	62人	101人	100人	100人	100人	
特筆すべき事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>川内大綱引保存会への補助金は、文化財としての川内大綱引の調査研究事業として、今年度に限り交付されるもの。</li> <li>平成26年度の工事費は市指定有形文化財「宥印法印の墓」整備を行うもの。（予算額897千円）</li> </ul>					

3 事務事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	<b>対象・手段の妥当性</b> <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当ではない (上記選択の理由) 文化財保護に関する事業であるが、市指定以外の文化財についての対応をどこまで行うかが明確ではなく、住民ニーズもあるが、全ての要望には応えられていない。
	<b>市が関与すべき妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 文化財の保護・調査等の業務であり、原則として市が関与すべきである。
効率性	<b>事業費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない (上記選択の理由) 文化財標柱・説明板の設置等、その所在地域住民の方に対応してもらっている箇所も多くあり、これ以上の削減は困難である。
	<b>要員配置の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない (上記選択の理由) 同事業は基本的に本庁で実施しており、これ以上の削減は不可能。文化財の調査、市民への普及・啓発等に職員が十分対応できていない。
有効性	<b>成果の達成度</b> <input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度はやや高い <input type="checkbox"/> 達成度は低い (上記選択の理由 ※成果指標の過去の動向把握(5段階)結果を含めて選択理由を記入) ●過去の動向把握… <input type="checkbox"/> 大きく改善、 <input type="checkbox"/> 改善、 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい、 <input type="checkbox"/> 減少、 <input type="checkbox"/> 大きく減少 文化財少年団や出前講座を通し、文化財の普及啓発に努めている。
	<b>成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 余地がかなりある <input type="checkbox"/> 余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 余地はほとんどない (上記選択の理由) 現状での人員・予算規模では最終的には限界が生じると思われるが、支所・関連団体等の連絡調整を円滑に計ることにより成果の向上は可能。
4 事務事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	<b>今後の改革の方向性</b> <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性： <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	<b>上記方向付けの理由</b> 指定文化財等の説明板や標柱の計画的な建替え(予算措置) 支所教育課職員の異動や縮小、文化財管理者の高齢化等により管理業務が停滞している。 文化財管理業務のシルバー委託を検討したが、場所が広範囲に点在するため見送りとなった。
	<b>改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画</b> 文化財の保護管理業務等を検討する。

外部評価結果	<b>事務事業の視点別評価</b> 妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い
	<b>今後の改革の方向性</b> <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性： <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 まとめ(補助金等評価を含む。)

## 文化財保護事業 平成26年度予算内訳について

(単位:千円)

予算額	内 訳	
文化財保護 審議会	369	委員報酬 203 旅費 166
管理	3,670	文化財パトロール人件費 150 文化財清掃謝金(地元等) 944 文化財周辺清掃委託(シルバー人材センター) 181 文化財修繕料 200 指定文化財樹木火災保険料 41 文化財保護消耗品費 90  ○鷹之巣神社のナギ(入来町) ワイヤー修繕 80 シロアリ駆除委託料 40 ○梅園保護対策(藤川天神・久留須梅) 梅園保護草刈・除草委託料 131 梅園保護消毒・かきよう病対策委託料 468 梅園保護剪定作業委託料 195 ○鳥追の杜 水道料 9 ○万葉の散歩道 管理委託 88 ○埋蔵文化財管理施設 灯油代・草刈機用混合油 21 電気代 180 ガス代 36 水道料 18 電話料 65 し尿汲み取り料 5 土地借上料 295 コピー機賃借料 84 施設警備業務委託 247 消防用設備点検業務委託 72 消耗品 30
調査・研究	2,295	専門家指導謝金 60 専門家指導時旅費 47 職員旅費 318  ○埋蔵文化財管理施設 作業員賃金 1,017 作業員社会保険料 17  ○緊急発掘調査 作業員賃金 610 作業員社会保険料 2 重機・仮設トイレ等借上・設置 224

(単位:千円)

予算額		内 訳	
普及啓発	1,515	文化財等案内人件費	89
		文化財説明板等作成業務委託	600
		泰平寺パンフレット印刷	205
		文化財マップ印刷	595
		文化財少年団用帽子・消耗品	26
負担金・工事	961	市指定有形文化財「宥印法印の墓」整備工事	897
		全国史跡整備市町村協議会年会費・出席負担金	50
		九州文化財保存協議会年会費	14
補助金	2,005	郷土芸能保存奨励補助金	1,847
		郷土史研究会運営補助金(川内)	122
		郷土史研究会運営補助金(樋脇)	36
		川内大綱引保存会運営補助金(今年度限り)	200

所管部課名	薩摩川内市教育委員会 文化課		担当者	園田健一				
事務事業名	文化財保護事業							
根拠法令	薩摩川内市教育委員会関係補助金等交付要綱							
補助経過年数	21年以上							
平成26年度 予算額	1,847千円	国県支出金	その他	一般財源	その他の内容			
		千円	千円	1,847千円				
	指標名		目標値	目標年度				
成果指標①	会議開催状況		80回	平成31年度				
成果指標②	郷土芸能伝承のための活動状況		650回	平成31年度				
補助対象者	市内郷土芸能保存団体							
補助対象経費	郷土芸能伝承のための後継者育成及び発表などの公開を通して、郷土文化の振興を図るものであること。（報償費、旅費、需用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、備品購入費）							
補助対象事業・活動の内容	郷土芸能公演等の開催及び保存伝承のための衣装等整備							
	分類	<input checked="" type="checkbox"/> 運営補助のみ <input type="checkbox"/> 事業補助のみ <input type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他						
補助金額又は補助率	国指定：（東郷文弥節）100,000円 （トシドン）60,000円 県指定：40,000円 市指定：30,000円 未指定：23,000円							
上記項目の積算方法	予算に定める額以内							
補助を 受ける 3カ年 の事業 (団体) 等の 決算 状況	収入	項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)
		自己資金	9,807,413	54.6%	8,571,819	52.8%	11,420,402	70.1%
		会費収入	586,684	3.3%	670,000	4.1%	943,240	5.8%
		事業収入	462,289	2.6%	1,791,514	11.0%	2,856,101	17.5%
		寄付金・その他助成	8,758,440	48.7%	6,110,305	37.7%	7,621,061	46.8%
		市補助金	1,732,000	9.6%	1,801,000	11.1%	1,702,000	10.4%
				0.0%		0.0%		0.0%
	(前年度繰越金)	6,427,514	35.8%	5,855,676	36.1%	3,170,764	19.5%	
	計	17,966,927	100.0%	16,228,495	100.0%	16,293,166	100.0%	
	支出	事業費	12,111,251	67.4%	13,057,731	80.5%	13,206,460	81.1%
		人件費		0.0%		0.0%		0.0%
		その他事務費		0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
			0.0%		0.0%		0.0%	
(翌年度繰越金)		5,855,676	32.6%	3,170,764	19.5%	3,086,706	18.9%	
計	17,966,927	100.0%	16,228,495	100.0%	16,293,166	100.0%		
支出計/前年度支出計				90.3%		100.4%		
自己資金/前年度自己資金				87.4%		133.2%		
翌年度繰越金/市補助金		338.1%		176.1%		181.4%		
交付件数		60		63		59		
成果指標の推移①		70		73		67		
成果指標の推移②		568		687		622		
特記すべき事項等								

〈補助金の視点別評価〉

【主管課評価・・・A=合致、B=概ね合致、C=課題あり】

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	A	市民が地域の伝統芸能に触れる機会が増加することで、文化財や地域文化の大切さを認識し、地域文化進行に寄与するものと思われる。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	B	①に該当する。 年間を通じての郷土芸能の活動や備品購入のための積み立て金の一部にもなるため必要性は高いものと思われる。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。 ② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。		
有効性	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。(その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。)	A	練習や奉納・披露などの活動自体が保存・継承そのものであり『伝承のための活動回数』等は市民ニーズに合致している。また補助金の使途は活動そのものや備品の購入等に充てられており郷土芸能の保存継承に適切な効果を生じている。
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	A	郷土史の研究はその幅（年代・地域・ジャンル）が広いため行政（文化課や歴史資料館）が行うより、地域の団体が行う方が適当である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。(交付要綱の補助基準)	B	補助額は『予算で定める額以内』とされており、明確な根拠とは言い難い。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられるなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	C	会費を徴収するなど自主財源を積極的に確保する団体とそうでない団体など様々である。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	B	郷土芸能活動を通して、世代を越えた地域住民のコミュニケーションが活発になり地域の活性化につながる。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も適当な政策手段であると明確に認められる。	B	協賛金や会費を徴収するなど自主財源を積極的に確保する団体も一部あるが、殆どが自主財源に乏しい状況にあり補助金は必要である。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	A	補助対象経費は明確に規定されており、公費を充てるものとして著しく妥当性を欠くものではない。

〈補助金の見直し結果〉

内部評価（一次）結果	<p>〈〈今後の改革の方向性〉〉</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続  <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続                      ⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止</p>
	<p>〈〈上記方向の理由〉〉</p> <p>郷土芸能は少子化や過疎化に伴い保存継承が困難となっている。その一つの理由として会員数の減少により自主財源の確保が困難となってきたことが挙げられる。当該補助事業を継続することで、住民が地域の伝統芸能に触れる機会が増え、文化財や地域文化の大切さを認識させ、地域文化振興に寄与するとともに地域の活性化にもつながるものと思われる。</p>
	<p>〈〈改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画〉〉</p> <p>県指定、市指定、未指定のについてはそれぞれ補助額が統一されているが、国指定のトシドンと、人形浄瑠璃は金額が異なるため今後においては統一するよう検討することとしたい。</p>

■ 郷土芸能保存奨励補助金 平成25年度実績

No	地区	保存会名	区分	収入				支出			
				市補助金	他補助金	自己資金	収入計	事業費	積立金	翌年度繰越	支出計
1	川内	高江町太郎太郎踊保存会	県指定	40,000		82,500	122,500	122,500		0	122,500
2	川内	宮内奴振り踊り保存会	県指定	40,000	160,000	1,024,013	1,224,013	944,213	279,800	0	1,224,013
3	川内	寄田棒踊保存会	県指定	40,000		239,051	279,051	256,846	22,205	0	279,051
4	川内	久見崎盆踊り「想夫恋」保存会	県指定	40,000		352,147	392,147	177,518		214,629	177,518
5	川内	草道郷土芸能保存会	市指定	30,000	40,000	287,957	357,957	197,495	100,000	60,462	297,495
6	川内	中郷虚無僧踊り保存会	市指定	30,000	212,000	451,477	693,477	412,680		280,797	412,680
7	川内	高城町太鼓踊り保存会	市指定	30,000	30,000	449,850	509,850	487,125		22,725	487,125
8	川内	飯母鷹踊り保存会	市指定	30,000		29,475	59,475	47,700		11,775	47,700
9	川内	久見崎次郎次郎踊り保存会	市指定外	23,000		260,500	283,500	178,057	105,443	0	283,500
10	川内	陽成太鼓踊り保存会	市指定外	23,000	50,000	1,272,988	1,345,988	963,992		381,996	963,992
11	川内	別府原鐘踊り保存会	市指定外	23,000		30,000	53,000	53,000		0	53,000
12	川内	中郷太鼓踊り保存会	市指定外	23,000	30,000	40,537	93,537	91,640		1,897	91,640
13	川内	高城町虚無僧踊り保存会	市指定外	23,000	20,000	442,481	485,481	467,291		18,190	467,291
14	川内	高江太鼓踊り保存会	市指定外	23,000		391,000	414,000	414,000		0	414,000
15	川内	下湯田兵六踊り保存会	市指定外	23,000		0	23,000	23,000		0	23,000
16	川内	城上町太鼓踊保存会	市指定外	23,000	20,000	736,602	779,602	745,063		34,539	745,063
17	樋脇	倉野奴振踊り保存会	県指定	40,000		370,000	410,000	390,076		19,924	390,076
18	樋脇	倉野太鼓踊り保存会	市指定	30,000		45,000	75,000	72,800		2,200	72,800
19	樋脇	樋脇武士踊り保存会	市指定	30,000		44,140	74,140	49,810		24,330	49,810
20	樋脇	上手太鼓踊り保存会	市指定	30,000	20,000	210,626	260,626	242,322		18,304	242,322
21	樋脇	野下鎌踊り保存会	市指定	30,000	50,000	15,010	95,010	90,337		4,673	90,337
22	樋脇	ひわき丸山太鼓保存会	市指定外	23,000		279,504	302,504	207,476	76,028	19,000	283,504
23	入来	麓疱瘡踊保存会	県指定	40,000		127,928	167,928	117,256		50,672	117,256
24	入来	入来神舞保存会	市指定	30,000		5,791	35,791	30,000		5,791	30,000
25	入来	山下下名楽太鼓踊り保存会	市指定	30,000		690,733	720,733	419,550	200,000	101,183	619,550

No	地区	保存会名	区分	収入				支出			
				市補助金	他補助金	自己資金	収入計	事業費	積立金	翌年度繰越	支出計
26	入来	副田楽下手一本矢旗太鼓踊り保存会	市指定	30,000		758,886	788,886	649,272	130,000	9,614	779,272
27	入来	朝陽太鼓踊り保存会	市指定	30,000		76,397	106,397	99,322		7,075	99,322
28	入来	大馬越太鼓踊り保存会	市指定外	23,000		85,128	108,128	100,962		7,166	100,962
29	入来	中須金山踊り保存会	市指定外	23,000		124,250	147,250	141,931		5,319	141,931
30	入来	元村鉦踊り保存会	市指定外	23,000		58,640	81,640	81,640		0	81,640
31	東郷	東郷文弥節人形浄瑠璃保存会	国指定	100,000		1,641,069	1,741,069	1,361,620		379,449	1,361,620
32	東郷	南瀬上方限太鼓踊り保存会	市指定	30,000		632,912	662,912	490,113	150,000	22,799	640,113
33	東郷	山田太鼓踊り保存会	市指定	30,000		67,284	97,284	30,600		66,684	30,600
34	東郷	南瀬下方限太鼓踊り保存会	市指定	30,000		1,390	31,390	26,300		5,090	26,300
35	東郷	山田中鷹踊り保存会	市指定外	23,000		40,581	63,581	30,000	20,000	13,581	50,000
36	東郷	古里棒鎌踊り保存会	市指定外	23,000		29,879	52,879	34,820		18,059	34,820
37	東郷	山田下俵踊り保存会	市指定外	23,000		47,000	70,000	70,000		0	70,000
38	東郷	本俣兵六踊り保存会	市指定外	23,000		67,103	90,103	55,482	20,000	14,621	75,482
39	祁答院	黒木鷹踊り保存会	市指定外	23,000	40,000	232,478	295,478	175,668		119,810	175,668
40	祁答院	上手俵踊り保存会	市指定外	23,000		25,000	48,000	48,000		0	48,000
41	祁答院	馬頃尾太鼓踊り保存会	市指定外	23,000		583,687	606,687	536,000		70,687	536,000
42	祁答院	麓伝統芸能保存会	市指定外	23,000		11,720	34,720	30,805		3,915	30,805
43	祁答院	菊地田種子島踊り保存会	市指定外	23,000	10,000	149,491	182,491	136,370		46,121	136,370
44	祁答院	砂石太鼓踊り保存会	市指定外	23,000		2,271	25,271	23,000		2,271	23,000
45	祁答院	藺牟田小学校金山踊り保存会	市指定外	23,000	15,000	51,240	89,240	49,114		40,126	49,114
46	祁答院	馬頃尾棒踊り保存会	市指定外	23,000		34,894	57,894	57,894		0	57,894
47	里	里内侍舞保存会	県指定	40,000		28,645	68,645	46,524		22,121	46,524
48	里	さっくら保存会	市指定	30,000		45,883	75,883	42,710		33,173	42,710
49	下甌	甌島のトシドン保存会	国指定	60,000		15,694	75,694	60,867		14,827	60,867
50	下甌	郷土芸能港ヤンハ保存会	市指定外	23,000		50,847	73,847	70,828		3,019	70,828
51	下甌	内川内郷土芸能保存会	市指定外	23,000		242,042	265,042	107,043		157,999	107,043
52	下甌	郷土芸能手打ばやし保存会	市指定外	23,000		33,269	56,269	45,000		11,269	45,000



No	地区	保存会名	区分	収入				支出			
				市補助金	他補助金	自己資金	収入計	事業費	積立金	翌年度繰越	支出計
53	下甑	長浜郷土芸能保存会	市指定外	23,000		2,264	25,264	23,080		2,184	23,080
54	下甑	青瀬郷土芸能保存会	市指定外	23,000		108,000	131,000	131,000		0	131,000
55	下甑	西山郷土芸能保存会	市指定外	23,000		141,658	164,658	23,000		141,658	23,000
56	下甑	手打籠武士踊り保存会	市指定外	23,000		611,512	634,512	52,000		582,512	52,000
57	鹿島	鹿島棒踊り保存会	市指定外	23,000		11,273	34,273	23,553		10,720	23,553
58	鹿島	鹿島太鼓保存会	市指定外	23,000		73	23,073	23,000		73	23,000
59	鹿島	鹿島才二八踊り保存会	市指定外	23,000		2,396	25,396	23,719		1,677	23,719

【再掲】

	区分	収入				支出			
		市補助金	他補助金	自己資金	収入計	事業費	積立金	翌年度繰越	支出計
2団体	国指定	160,000	0	1,656,763	1,816,763	1,422,487	0	394,276	1,422,487
7団体	県指定	280,000	160,000	2,224,284	2,664,284	2,054,933	302,005	307,346	2,356,938
16団体	市指定	480,000	352,000	3,812,811	4,644,811	3,388,136	580,000	676,675	3,968,136
34団体	市指定外	782,000	185,000	6,200,308	7,167,308	5,237,428	221,471	1,708,409	5,458,899



所管部課名	薩摩川内市教育委員会 文化課		担当者	園田健一					
事務事業名	文化財保護事業								
根拠法令	薩摩川内市教育委員会関係補助金等交付要綱								
補助経過年数	21年以上								
平成26年度 予算額	158 千円	国県支出金	その他		一般財源	その他の内容			
		千円	千円		158 千円				
	指標名			目標値		目標年度			
成果指標①	研究会の会議開催状況			17回		平成31年度			
成果指標②	機関紙の発行状況			年1回		平成31年度			
補助対象者	薩摩川内郷土史研究会及び樋脇郷土史研究会								
補助対象経費	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、ほか特に必要であると認められる経費								
補助対象事業・活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土史研究会の発表会及び講演会の開催、文化財探訪等の運営</li> <li>機関紙発行</li> </ul>								
	分類	<input checked="" type="checkbox"/> 運営補助のみ <input type="checkbox"/> 事業補助のみ <input type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他							
補助金額又は補助率	薩摩川内郷土史研究会 122,000円    樋脇郷土史研究会 36,000円								
上記項目の積算方法	予算に定める額以内								
補助を 受ける 3カ年 の事業 (団体) 等の 決算 状況	収入	項目		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
				金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)
		自己資金		430,452	65.3%	422,262	66.3%	453,104	68.7%
		会費収入		246,000	37.3%	212,000	33.3%	204,000	30.9%
		事業収入		184,452	28.0%	210,262	33.0%	249,104	37.8%
		寄付金・その他助成			0.0%		0.0%		0.0%
		市補助金		158,000	24.0%	158,000	24.8%	158,000	24.0%
					0.0%		0.0%		0.0%
	(前年度繰越金)		71,038	10.8%	56,680	8.9%	48,364	7.3%	
	計		659,490	100.0%	636,942	100.0%	659,468	100.0%	
	事業費		602,810	91.4%	588,578	92.4%	638,468	96.8%	
	人件費			0.0%		0.0%		0.0%	
	その他事務費			0.0%		0.0%		0.0%	
				0.0%		0.0%		0.0%	
				0.0%		0.0%		0.0%	
	(翌年度繰越金)		56,680	8.6%	48,364	7.6%	21,000	3.2%	
計		659,490	100.0%	636,942	100.0%	659,468	100.0%		
支出計/前年度支出計						96.6%		103.5%	
自己資金/前年度自己資金						98.1%		107.3%	
翌年度繰越金/市補助金				35.9%		30.6%		13.3%	
交付件数		2件		2件		2件			
成果指標の推移①		12回		16回		15回			
成果指標の推移②		1回		1回		1回			
特記すべき事項等									

〈補助金の視点別評価〉

【主管課評価・・・A=合致、B=概ね合致、C=課題あり】

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	B	本市の歴史について研究を行い、その研究成果として定期的に機関誌を発行しており、市民に郷土の歴史を認識させるとともに、学術の発展にも寄与している。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	B	①に該当する。 補助金は研究費や機関誌の発行のために充てられており必要性は高いものと思われる。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。 ② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。		
有効性	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。(その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。)	B	研究会の会議開催状況や機関誌の発行状況は当団体の活動状況や市民への貢献度を的確に表している。また、会議の開催状況や機関誌の発行のほか、講演会も定期的に開催するなど目標。成果の立つ性に向け適切な効果を生じている。
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	A	郷土史の研究はその幅（年代・地域・ジャンル）が広いため行政（文化課や歴史資料館）だけでは困難である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。(交付要綱の補助基準)	B	補助額は『予算で定める額以内』とされており、明確な根拠とは言い難い。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられるなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	A	会費の徴収や、機関誌の販売により自主財源を積極的に確保している。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	B	講演会を定期的に開催し、当該会員以外のものにも積極的に参加を促している。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も妥当な政策手段であると明確に認められる。	A	会費を徴収や機関誌の販売など自主財源を積極的に確保するなど努力が見受けられ、公益性が高く、妥当であるといえる。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	A	補助対象経費は明確に規定されており、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものではない。

〈補助金の見直し結果〉

内部評価（一次）	≪今後の改革の方向性≫ <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	≪上記方向の理由≫ 本市の郷土史研究会は、薩摩川内郷土史研究会及び樋脇郷土史研究会の二つの団体が存在し、前者は川内地域に公社は樋脇地域に特化した研究活動をも展開している。また当該補助金もそれぞれ分けて支給している。
結果	≪改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画≫ 本市を代表する一つの郷土史研究会として市内全域を研究対象とする活動ができないか、両団体に合併を促すこととしたい。